

11/21 土

# こまば哲学カフェ 2015

東京大学駒場キャンパス 5号館 1階 518教室



11/22 日

11/23 月・祝

<p>9:00 ? 10:00</p>	<p><b>せっかくコミュニティーボールを作るんだから、キレイに作ろう!</b> 企画者: 山村洋</p>		
<p>10:00 ? 12:00</p>	<p><b>モノのみかたの哲学・モノのみかたは哲学?</b> (簡単な紙工作ワークショップ付き) 企画者: 山村洋  あなたは目の前にあるモノが本当に見えていますか? モノが存在することと、見えることは違います。ここでは、当たり前に見てきたはずのボールの形について、映像資料を見ていただき、観察し工作をしてみ、発見したこと感じたことなどについて、対話したいと思います。</p>	<p><b>出張!! SPA</b> 企画者: St.Paul's Agora (立教大学) 代表者: 廣畑光希  立教大学の哲学対話サークルSPAが駒場祭で出張活動を行います。学生の方にはSPAの対話に体験参加を、一般の方にはSPAの対話をご見学いただいたのちに全員でサークルで哲学対話をするをめぐって対話を行いたいと思っています!</p>	<p><b>子どもの/で哲学</b> 企画者: 安部 高太朗  誰しもがかつては「子ども」だった——こんな当たり前で身近なことなのに「子ども」というのは謎に満ちた存在でもある。「子どもらしさ」の不思議を一緒に味わってみませんか?</p>
<p>13:00 ? 15:00</p>	<p><b>「記念日」をめぐる哲学対話 —愛・誕生、記憶・忘却—</b> 企画者: 上智大学哲学対話研究会(ディアロコス)、代表者: 堀越耀介  結婚記念日、誕生日、建国記念日、憲法記念日。僕らの日常に記念日はたくさんあるけれど、そもそも記念日って何だろう? なぜ記念しなければいけないの? 忘れたっていいんじゃない? —そんな記念日の意味、改めて問い直してみませんか。</p>	<p><b>開智学園ありとぶら</b> 企画者: ありとぶら(開智学園中学・高等学校)  皆さんで存知アリストテレスやプラトン達の哲学の世界へようこそ…なんて、かたいものじゃありません。開智学園の中高生が提供する、不思議に感じたことをみんなで話し合える場所です! 考えることが好きな人などなたでも参加してもらえますが、特に中高生の参加をお待ちしています。ぜひ来てください!</p>	<p><b>において、話そう</b> 企画者: 古賀裕也  私たちはいつも匂いに取りかこまれています。毎日の気にもしない匂い、人や季節の特別な匂い、個人的な思い出の匂い… よく知っているけど、言葉にできるのでしょうか? お茶を片手にゆっくり始めてみましょう。</p>
<p>15:30 ? 17:30</p>	<p><b>目隠し対話 ~恋は盲目? 恋に終わりはあるの?~</b> 企画者: 豊 昌樹・川口 茜  ※この対話では前半でアイマスクを着用します。緊張ドキドキ不安が増す? 「視覚」「聴覚」の対話への影響を恋バナとともに。</p>	<p><b>Death Cafeこまば</b> 企画者: 水谷みつる  誰もにかかわることでありながら、正面切って話す機会の少ない「死」について、気軽にオープンに語り合う「Death Cafe」のこまば版。若さ弾ける駒場祭の喧騒のど真ん中で、老いも若きも一緒に「死」とそして「生」について静かに深く対話します。(なお、本企画は、相談、分かち合いなどの場を提供するものではありません)</p>	<p><b>てつたん!~哲学対話×短歌のこころみ~</b> 企画者: 廣川千瑛  短歌って古くさくて難しそう。作者の意図なんて分かんない! 国語の授業で短歌を学んで、そう思った人も多いはず。では、哲学対話で短歌を素材にすると、どうなるでしょう? 平成生まれの親しみやすい短歌から、対話を始めてみましょう。</p>